

科目名		担当者氏名	授業形式	単位	開講時期
保育研究（健康・体育）		——	実技・演習	1	後期
必修・選択	卒業要件	必修・選択			
	資格要件	幼稚園教諭 2 種免許選択 保育士資格選択 保健児童ソーシャルワーカー資格必修			
学習目標	<p>運動（あそび）体験を通して、子どもの「こころ」と「からだ」の健康について考え、下記目標の達成を目指す。</p> <p>(1) 自らが童心にかえり、運動（あそび）が好きになる態度を養う。</p> <p>(2) 運動（あそび）が子どもの心身に働きかける効果を学ぶ。</p> <p>(3) 保育現場で活用できる運動実践法を身につける。</p>				
授 業 計 画					
回	項 目	授 業 内 容			
1	幼児のこころとからだ	体ほぐしを主とした運動			
2	秋の運動会（屋外編）	園の運動会を想定した競技種目の立案と実践			
3	秋の運動会（屋内編）	雨天時の運動会を想定した競技の立案と実践			
4	リズム体操	園行事における発表会の問題点と留意点について			
5	力強い動きを伴うあそび	伸び伸びと充分にからだを動かすあそび			
6	しなやかな動きを伴うあそび	身体バランスを養うあそび			
7	みんなであそぼ（1）	集団で一斉に体を動かすあそび			
8	みんなであそぼ（2）	集団で役割を決めたあそび			
9	想像から創造の世界へ（1）	時間と空間を意識した身体表現			
10	想像から想像の世界へ（2）	感動体験やイメージをふくらませた身体表現			
11	運動あそび（1）	既習のあそびを応用させた運動プログラムの構成			
12	運動あそび（2）	既習のあそびを応用させた運動プログラムの実践			
13	季節にあわせたあそび	冬・雪（寒い日）を想定したあそび			
14	こどもフェスティバル（1）	「こころ」と「からだ」をとともなう運動プログラムの立案			
15	こどもフェスティバル（2）	「こころ」と「からだ」をとともなう運動プログラムの実践			
参 考 書	「いきいき幼児体育」（コダーイ芸術教育研究書著．明治図書．2003 年） 「表現・ダンス学習指導の体系化をめざして」（遊戯社．1986 年）				
学習上の注意（自己学習、学外学習など）	毎回の授業では筆記用具持参。指定の体操着・指定靴で受講することが望ましい。 グループディスカッションや運動実践での積極的な参加態度を歓迎する。				
評価の方法と時期	授業中の態度及び出席状況、運動プログラムの実践内容（12・15 次）で評価する。				